

第4回 ENGase 研究会開催のお知らせ

エンドグリコシダーゼは複合糖質よりオリゴ糖を遊離する酵素群で、これまで日本はさまざまなエンドグリコシダーゼの発見に貢献してきました。特に糖タンパク質のN型糖鎖の脱離酵素である ENGase (エンド- β -*N*-アセチルグルコサミニダーゼ) に関しては、さまざまな動植物、カビそしてバクテリアにおける酵素活性の発見と遺伝子の同定で世界をリードしてきました。

昨今 ENGase は特に糖タンパク質製剤を初めとしたタンパク質の糖鎖リモデリングへの応用をはじめとした実用、産業化が注目を集めており、今後ますます基盤研究の強化が望まれます。本会は ENGase の基礎研究、応用研究に関わる日本研究者が情報の共有と共同研究の促進を目指して 2015 年に結成され、第一回の研究会は理化学研究所で開催されました。以来年に一度のペースで研究会を開催しており、今年は再び理研で開催することとなりました。どうぞ奮ってご参加いただけますと幸いです。

世話人 鈴木 匡 (理化学研究所)
千葉 靖典 (産業技術総合研究所)

開催日時：2018 年 10 月 5 日 (金)
開催場所：理化学研究所 鈴木梅太郎ホール
参加費：無料 (懇親会費は別途かかります)

プログラム：
14:00-14:05 はじめに

講演 (30 分+5 分質疑応答)

座長：千葉 靖典 (産業技術総合研究所)
14:05-14:40 理化学研究所 鈴木 匡
「糸状菌の ENGase：ゲノムを眺めて見えてきたもの」
14:40-15:15 九州大学 竹川 薫
「エンドグリコシダーゼ：糖タンパク質の糖鎖を根本から切断する生物学的意味を考える」

15:15-15:40 (休憩)

座長：鈴木 匡 (理化学研究所)
15:40-16:15 理化学研究所 眞鍋 志乃
「抗体-薬物複合体合成における ENGase」
16:15-16:50 東海大 稲津 敏行
「マイクロバイオリアクターを用いる糖鎖転移反応」

16:50-17:00
総合討論

